

第79号 2013年10月

発 行

群馬県生協連女性協議会群馬県前橋市大手町3-19-3

「風」はホームページでもご覧いただけます http://gunma.kenren-coop.jp/ Eメール:mail@gunma.kenren-coop.jp

運営委員学習会を開催しました 女性協の役割と男女共同参画について勉強

8月21日(木)

"共同参画はくらし全体にかかわっているのに、形にしたり、説明したり、報告したりしにくい"。運営委員会では男女共同参画と女性協の役割についてあらためて学ぼうと、林かの子さん(女性協前会長)を講師に招いて運営委員学習会を開催しました。以下、概要をご紹介します。

- ① 女性協議会の目的は「・・・生協の役割を発揮し、共同参画を広げていくこと」(運営規約)です。また、役割について「現在では(女性の)力量向上とともに、会員生協の共同参画推進における課題を検討し、具体的取り組みの応援をすること」(役割検討)としている。
- ② 7月1日の小さな新聞記事に目がとまった。"世界の女性の3分の1が肉体的あるいは性的暴力を受けている"。各国の憲法においても、国連が採択した世界人権宣言においても、ひとの尊厳や平等、人権はしっかり謳われているのにである。
- ③ 母系社会であった奈良・平安時代から武家社会へと移ると、江戸時代には儒教の影響で男社会に。しかしこの時代は女性が労働力として重視されたことから商家や農家の男女は対等であったという。明治になって「男尊女卑」が法制化され、様々な権利が女性から奪われた。戦後になって日本国憲法のもとで「男女平等」となるのだが、職場、家庭、学校、地域では「男中心」が変化することはなかった。1979年の国連女性差別撤廃条約採択以降"女性差別"の禁止や撤廃が課題として認識され、その後"両性の問題である"との認識に変わり、共同参画が法制化されたのは日本では1999年であった(「男女共同参画社会基本法」)。
- ④日本生協連は1975年の国際婦人年を契機に国際的な動きに合流、女性評議会を設置するなどして1993年に「男女共同参画型の生協運動をめざす提案」を発表。生協は女性が力をつける場として大きな役割りを果たしたが、意思決定・政策決定の分野では男性中心に偏っていたことへの改善などを求めた。群馬県生協連では1994年に女性協議会を設置した。当初は女性の意識や地位の向上に取り組みの重点を置いたが、現在の役割は前述のとおりである。
- ⑤生協における男女共同参画の実現を「経営課題」としてとらえ、組合員のくらしに役立つ事業として地域社会づくりに参加する生協づくりは、経営面では高度な経営品質の獲得と表裏をなし、共同参画の実現へとつながる。

林かの子さんは、最後に若者が置かれている雇用の現状を説明し、正規雇用の減少と非正規雇用の急増の中で男女とも雇用が拡大したといわれるが、若者が低賃金で不安定な働き方に追いやられ、かつての女性パート労働に男性が近づいていて「平等」と言えるのか、いったいどんな世界をめざすというのか、となげかけ、「男女の格差はもちろん、不当な格差をなくし、一人の人間が個人の尊厳を守られて生活できる社会をめざさすのでなくてはならない」と結びました。

学習や交流などの取り組みを通して私たち自身が力量の向上を図りながら、会員生協における 取り組みに力を発揮するという運営委員の役割について再認識した学習会となりました。

女性協第20回定期総会を開催しました 6月11日(火)

想いを叶えた倉渕四季の味わい研究会の活動を聞く

6月11日(火)群馬県生協連女性協議会第20回定期総会を群馬県生涯学習センター多目的 ホールにて開催しました。



定期総会のようす

午前10時、代議員41名、オブザーバー6名の出席を いただいて開会しました。

司会の下山淳子委員(コープぐんま)の進行により、議 長に越川かおりさん(パルシステム群馬代議員)を一堂選 任、議事に入りました。

群馬県生協連中嶋源治会長理事、女性協清野紀美子会長 はともに挨拶の中で、生活の安定やくらしやすい社会をめ ざす提案、目標に触れ、続いて来賓の関隆之様(群馬県生活

文化スポーツ部消費生活課課長)、笛田淑子様(ぐんま男女共同参画センター所長)よりご祝辞 をいただき、豊かさに内包するトラブルの悪質化の傾向の指摘、共同参画への認識等を改めて提 言いただきました。

議事に入り、第1号議案「2012年度活動報告及び収支報告承認の件ならびに監査報告」、 第2号議案「2013年度活動方針及び予算決定の件」とも満場の拍手をもって承認。議事を終 了しました。

男女共同参画社会均等法(1999年)、次世代育成支援 対策推進法(2005年)などと、諸条件や環境が改善さ れていることは確かであるが、一方、自己(自組織) の重要課題として受け入れる風土の熟成度に問題があ ることに私たち女性協の取り組みの意味があり、「学び」 「気づき」の大切さを伝え続けることや、学習や交流を 通じて力量を向上させていくことを再確認し、新年度 に入りました。

総会は小休止のあとお楽しみのアトラクションタイ



みんなで群中ロコモ体操

ム。『群中ロコモ体操』を、考案者のインストラクター松尾初美さん(群馬中央医療生協理事) を迎えて開始。椅子をかかえて自分の空間をまず確保してスタート!足踏み手の上げ下げ、右へ 左へ、イチ、ニィ、イチ、ニィ…手が…足が…もつれ、乱れ、頭はマッシロ。でも楽しい一時で した。「手も足も脳も、もっともっと使わないとピンピンコロリとはいきませんよ!!」 松尾先 生のご託宣です。続けることが大事とは解っていますが、続けていません。すみません<m(__)m> 編集委員 宮澤孝子(北毛保健生協)

〈退任挨拶〉

今年の6月の総会で運営委員 を退任いたしました。 これからの生協活動や、日々

のくらしの中でも学んだこと を生かして行きたいと思って います。

2年間、一緒に活動させてい ただいた皆様には本当にお世話になりました。 これからも益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(パルシステム群馬 林 百恵さん)

〈新運営委員あいさつ〉

皆が安心して暮らせる、働ける男女 共同参画社会を軸として活動

している女性協の意義 っかり理解し、生協の中で 自分ができることは何かを 考え、行動してい きたい と思います。どうぞよろし くお願いいたします。

(パルシステム群馬 西原友美さん)

2013年度第 1 回中央地連「男女共同参画懇談会」に参加 これからの生協のあり方を考える機会でした 8月26日(木)

2013年度第1回中央地連「男女共同参画懇談会」が8月26日(月)コーププラザ(渋谷)で開催され参加しました。20生協・連合会から約70名が参加、群馬県生協連からは2名が参加しました。



男女共同参画懇談会のようす

第一部は学習講演で、コープあいち執行委員の箕浦明海さんの「私の生協でのあゆみ~大切にしていること」を聞きました。

第二部ははじめに事例報告があり、①コープぐんまの小保 方直行常務理事から「コープぐんまでの男女共同参画の取組 み」について、②パルシステム東京の中山駒子さんから『男

性のための育児ガイドブック』『介護と仕事の両立ガイドブック』を活用した取り組みについて報告を受けました。つぎに、

グループ交流となり、「働きやすい職場づくりのために~これから生協で取り 組みたいこと」というテーマでワークション形式で交流しました。

初めて参加する私にとってどれも勉強になる事ばかりでした。特に、箕浦さんの話は印象的でした。「NOと言わずいつも前を向いて」「なりたい自分になるために」声を出して、アルバイト・パートを経て店長職をこなし、現在は執行役員をしているとのこと。ご本人の生協への思い、努力もさることながら、コープあいちの女性登用の環境整備も素晴らしいと思いました。



小保方常務理事 (コープぐんま)

各生協、幹部職員の方が大勢参加され、これからの生協のあり方を考える 懇談会でした。 編集委員 川田

編集委員 山田千枝(はるな生協)

はるな生協

会員生協活動紹介

県内医療生協初の「住まい」誕生!

はるな生協では、10月1日に介護センターほほえみの杜が開設しました。 サービス付き高齢者向け住宅「シニアハウスほほえみの杜」34戸とショートステイほほえみの 杜(単独型・2ユニット:20床)と通所介護のデイホームほほえみの杜(定員30名)になり ます。



サービス付き高齢者住宅、デイサービス、ショートステイ が一体となった介護センター「ほほえみの杜」がオープン

県内医療生協初めての住まいになります。24時間365日介護する施設です。日中は施設内のデイサービスを利用します。1カ月家賃・食費・管理費等で138,000円と介護保険自己負担限度額がかかります。

ショートステイは、ヘルパーとデイとともに 在宅介護を支える重要なサービスで、食事・入 浴・排泄の支援、機能訓練をする他、介護者が 介護に疲れたり、用事があるときに利用できま す。

施設と同時に助け合いの会(有償ボランティア)や介護学校も計画しています。住み慣れた地域で、安心して住み続けられるまちづくりを目指し、施設と組織づくりに挑戦です。

この記事は、はるな生協の長谷川介護事業部長様から原稿をいただきました。どうもありがとうございました。

WIII SH

女性協の視察研修会 ハンサムウーマン 新島八重 に 逢う旅 に ごー 質にませんか

10月19日(土)

8:30~16:30

敷島公園(前橋)発・着 (ほかに 新前橋駅を経由)



NHKの大河ドラマで表舞台に踊りでたハンサムウーマンこと新島八重の姿を、新島襄ゆかりの地、安中で、視てきませんか。



新島襄は、安中藩士の子として江戸・神田に生まれ、21歳で渡米。キリスト教徒となり、帰国後安中へ帰郷し、キリスト教を伝道。その後、京都で同志社英学校を設立し、47歳でこの世を去った。

幕末の動乱期から 会津戦争・明治 大 正を駆け抜けた新 島八重と日本に リスト教育の場「同 た対 教育の場「同 志社」を導入した 新島襄の生涯をた どってみよう。



◆対象 女性・男性

http://yae.taigadrama.org『新島八重と襄』で予備学習してみましょう。

- ◆集合 出発時間の15分前
- **◆乗降車場所** 前橋敷島公園

新前橋駅

8:30 出発・16:30 帰着 8:40 出発・16:20 帰着

- ◆募集 40名: 〆切10月8日(火)(40名を越えた場合抽選となります)
- ◆視察・見学先 新島襄旧宅、安中教会、旧碓氷郡役所、龍昌寺ほか
- ◆**昼食** おぎのや横川店で昼食(峠の釜めし御膳) 参加費に含まれています。
- ◆参加費 2500円(旅費、旅行傷害保険料、昼食、資料代) 当日集金 ※幼児でも座席を使う場合は同額になります
- ◆お申込み 各生協(女性協担当部署) または女性協運営委員まで
 - (お名前・生年月日・住所・電話番号・乗車場所、昼食希望をお伝え下さい)
- ◆お問合せ 各生協または群馬県生協連事務局 (027-234-2376) にご連絡ください。

組合員学習交流会

講演 医療・介護と地域づくり ~認知症と向き合う中で~

調師 瀧口道生先生

前橋協立病院医師·群馬中央医療生協理事長

12月7日(土) 14時00分~16時00分

群馬県勤労者福祉センター 2 F会議室(1・2)

参加申込みが必要です (参加費無料) 定員100名



